※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　数学科

科目	**数学Ａ**	単位数	2
使用教科書	改訂版　新　高校の数学Ａ　（数研出版）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位	1	1
レポート	３通	３通
必要出席回数	１回	１回
テスト	○	○

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- レポート作成について
  - 教科書の例や例題を参考に作成してください
  - 必要に応じて解説動画を視聴し、理解を深めましょう
- 学習の進め方
  - スクーリングまでにレポートに取り組むことを推奨します
  - 疑問点はスクーリングで質問できるよう、早めに着手しましょう
- 定期考査について
  - レポートと教科書の内容を中心に出題されます

困ったときは遠慮なく質問してください！

2　学習の到達目標

図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けようとする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

- 学習指導要領（第１章第２款の５）に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	場合の数	和の法則･積の法則 順列 組合せ	a：和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解する。具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求める。 b：事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察すること。 c：順列及び組合せに関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとすること。	定期考査 スクーリング	定期考査 スクーリング	レポート スクーリング
	確率	事象と確率 確率の計算	a：確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率を求めること。 b：確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察すること。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したりすること。 c：確率に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとすること。	定期考査 スクーリング	定期考査 スクーリング	レポート スクーリング
後期	確率	独立な試行と確率 条件つき確率	a：確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率を求めること。独立な試行や，条件付き確率の意味を理解し，それぞれの確率を求めること。 b：確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察すること。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したりすること。 c：確率に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとすること。	定期考査 スクーリング	定期考査 スクーリング	レポート スクーリング
	図形の性質	図形の基本 角の二等分線と線分の比 三角形の外心，内心，重心 円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理	a：三角形や円に関する基本的な性質について理解すること。 b：図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 c：図形の性質に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとすること。	定期考査 スクーリング	定期考査 スクーリング	レポート スクーリング

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度